



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1080

26.11.2023 (134)

**ミヒャエル・キューネン (Michael
Kühnen**

政治的な兵役： SAの伝統と精神

第3部

サの悲劇

1933年1月30日、革命的闘士たちの希望はすべて叶えられたように思えた：勝利は勝ち取られ、総統は帝国首相となり、NSDAPはドイツ民族の主要な政治勢力となり、その嵐分遣隊は抗しがたい勢いで膨れ上がり、1934年6月には、すでに300万人以上のドイツ人がSAの茶色のシャツを誇りを持って着ていた。参謀長は帝国大臣になり、1933年9月の勝利の帝国党大会で、ヒトラー以降最強、総統とほぼ同等と象徴され、指名されていた。しかし、その背景には、SAの中で正当な不満が募っていた：

国家社会主義革命の実現と実行について、「民族の蜂起」がこれで完了したという話があまりにも少なかったのです。しかし、帝国軍、行政、経済における依然として強力な反動との同盟と妥協は、勝利ではなく、半分の

成功に過ぎなかった。SAの闘いは、1923年11月9日に最初の国家社会主義革命家が反動に裏切られ、撃ち落とされて以来、常に赤色戦線と反動との闘いであった。赤色戦線は一貫して排除され、1933年1月30日以降、ついに敗北し、民族革命は勝利したが、反動を一貫して排除すべき社会主義革命はどこにあったのか？

総統が引用した年頭のメッセージも、その温かさと感謝の気持ちが伝わってくるものの、独特の不明瞭さと洗礼された響きがある：

ライヒスヴェールは引き続き対外的に帝国を保護するが、SAは対内的に保護するのか。具体的にはどういうことかということ、内部での保護ということは、実際には国家安全保障機構全体の統制とその再編成を意味しなければならない。しかし、このことに疑問の余地はなかったはずである--SAは「補助警察」として繰り返し利用され、多くのSA指導者が警察署長に任命されたが、SAがこの任務を本当に果たすことができるために必要であったはずの警察・治安機構は、決してSA指導者に全体として従属することはなかったのである。レームはこの目的のために内務省を引き継ぐ必要があったのだろうか。- そのような話もなかった。

SA指導部は、帝国軍との「役割分担」についても同様に懐疑的であった：

エルンスト・レームの周りにいた国家社会主義者の革命家たちは、ほとんど全員が元前線将校で、後にフライコルプスの指導者となった。彼らは、帝国軍から追い出され、この一見無政治的に見える軍隊が、実際には反動のための非常に政治的な権力手段であることに長い間気づいていた政治的兵士だった。エルンスト・レームと彼のスタッフは、革命が自らの革命軍を作り上げて初めて本当に安全であるという、革命の論理を理解していた！

したがって、1934年前半には、内部緊張はますます激化した：SAは反動に対する「第二革命」を要求し、そのための決定的なステップとして、SAを武装した人民民兵に変身させ、さらに、適切な指導者と副指導者を将校および下士官としてライヒスヴェールに移し、政治的に支配することができるようにすることを要求していた。高度に技術的で強力かつ迅速に

展開できる小規模な国家社会主義エリート部隊の創設と、実質的にすべての軍人年齢の男性からなる人民民兵の下支えという両方の要素の組み合わせから、望ましい国家社会主義人民軍がSAスタッフの指導下で出現し、その決定的な権力手段が反動の手から奪取されることになるのである。

その結果、SAのかつての二重の性格が再びますます明らかになった。SAは、その自己イメージに従って常に党の無制限の下部組織であり続けたが、今では、かつてのように再び軍事部隊になることを望むだけでなく、将来の革命的人民軍になることを望んでいる！そのために、やはり1919年の時点でレームによって選抜され、推進されていたのである。結局、レームはSA指導者としての自分の任務を常にこのように理解していたのである。そして、このことは、前述のように、「**党が国家を指揮する！**」と主張した革命党としてのNSDAPの論理とも一致する。

党はその支部において、革命後のブルジョア国家機構に浸透し、国家社会主義的な意味でそれを変革するための「影の国家」を、闘争期間中にすでに確立していたのである。そして、この影の国家において、SAは常に将来の人民軍の役割を担っていたのである。SA指導部も普通のSA戦闘員も、権力の掌握後、この主張が、あらゆるレベルで、とりわけSAの任務に関して、反動との妥協と権力と任務の分担を優先して、ますます犠牲にされた理由を今では理解していない。

エルンスト・レームは、300万人のSA戦士に支えられ、非武装であっても数的にはすでに帝国最強のパワーファクターとなっていたため、対抗策を講じ始めた：革命の第二段階が予想されることを見越して、彼はSAを軍事組織へと変革し再編成し始め、帝国全土のSAグループによる壮大なアピール、演説、宣言、行進を通じて、圧力を強めていった。彼は宣言した：

「ブルジョア魂が、国家装置が別の徴候を受けただけで十分だ、民族革命はすでに長く続きすぎたと考えるなら、我々は一度だけ喜んで彼らに同意する、民族革命が止まり、民族社会主義革命となるのは、実に高い時期なのだ。彼らの意向に沿うかどうかは別として、われわれは闘いを続ける。彼らがようやく何が問題かを理解したとき、彼らとともに、彼らが望まないなら彼らなしで、そして、そうしなければならないなら、彼らに反対す

る。”

そしてついに、1934年4月18日、エルンスト・レームが演説で述べた、反動に対する公然たる宣戦布告が、もはや超えることのできない形で行われたのであった：

「しかし、われわれは、民族革命を起こしたのではなく、民族-社会主義革命を起こしたのであり、それによって、われわれは、「社会主義」という言葉を特に強調するのである！これらの民族勢力が、その間に、民族的思考に加えて、社会主義を学び、実践的に実践している場合には、われわれとともに行進し続けることができる。しかし、彼らが、われわれが、彼らのために、われわれの一貫した社会主義的意志にわずかでも譲歩すると考えるならば、彼らは重大な誤りを犯しているのである。

反動と革命は自然な宿命的な敵である。一方が他方を排除するため、何度も橋渡しをすることはできない。ドイツの新体制は、政権を取ったとき、理解しがたいほどの寛大さで、旧体制、さらに旧体制の担い手や子分たちを冷酷に一扫することはしなかった。今日、国家社会主義革命の精神のにおいをまだ感じていない人々が公務員の地位にいる。私たちは、彼らが発展によって追い抜かれた態度をとっていることを非難するつもりはないが、彼らに対等な立場に置かれる代わりに排除されたことを幸運だとは思わない。しかし、もし彼らがこの反動的な態度をあえて確認するのであれば、われわれは彼らの首をしっかりと無慈悲に折るだろう。”

このような宣言がこの数ヶ月の間に何十回も繰り返されたため、エルンスト・レームが暴動を計画している、つまり、彼が必要と考えている第二革命はSAの反乱によって引き起こされるという噂がますます広まった。しかし、これはレームを完全に見誤ることになる：

エルンスト・レームは常に総統に忠実で忠実な従者であり、ビザンチン的なイエスマンやお世辞を言うのではなく、自信に満ち、自己中心的に考える友人であったことは認めます。SA精鋭部隊（Stabswache）の武装、軍事部隊としてのSAの再編成、そして彼の訴えや宣言によって、レームはクーデターを準備していたわけではなく、そのような公然かつ挑発的な方法で演出することはほとんどできなかった。革命の第二段階は、アドル

フ・ヒトラーに対してではなく、ヒトラーとともに開始されることは常に明らかであった。しかし、レームは、1924年と同様に、総統が自分に反対すると決めたら、辞任して自分の任務を返上することも常に明らかであった。その明確な証拠は、レームがドイツに戻ったときにボリビア軍を辞職せず、休暇を取っただけだったこと、言い換えれば、自分の考えを実行できなくなった場合に備えて復帰の道を残していたことだ！レーム一揆」は、実際にはエルンスト・レームに対する暴動であり、総統が騙された神経戦と反動による陰謀によって実現したものだった。

しかし、この時点でアドルフ・ヒトラーに対する安直な批判は禁物である：レームはクーデターを起こしたくはなかったが、総統を自分の考えに引き入れるために、総統への圧力を含めて圧力をかけようとした。これは、SAが独自の政策を追求することは許されず、常に党の戦闘的な下部組織であり続け、その戦略と戦術に従わなければならないというSAの「基本法」に違反するものであった。この違反は、確かに参謀の解任を正当化するものであったろう。また、このような緊迫した国内政治的雰囲気の中で、SAの暴発はありえないが、反動的なライヒスヴァーアの暴発は常にありえ、またさまざまな場面で脅かされていたのだから、無責任である。そのようなクーデターは内戦につながる可能性があった！プーチの噂や反動派の陰謀に惑わされ、党内の対立するレームによって強化され、参謀本部によって圧力をかけられ、反動的な復興努力によって脅かされたヒトラーの目には、1934年6月30日の行動は、差し迫った内戦を防ぐためのものだった。このような背景から、SA指導者の処刑は理解できるようになった。50年後に、歴史的観察者の快適な肘掛け椅子から、罪と悲劇に判断を下すことはできないし、そうしたいわけでもない！

しかし、1923年11月9日のSAの最初の悲劇ですでに行ったように、歴史的な経験から現在と未来への教訓を引き出すことはできるだろう：SAの軍事的性格と純粋な政治的性格という二重人格の根底にある緊張は、劇的な出来事として二度解放された：1923年11月9日と1934年6月30日、SAはその権力の絶頂にあり、2度とも血みどろの決着でその権力を失い、チャンスを失っている。1923年以降、SAから軍事的性格を取り除き、宣伝効果に特化した党軍に変身させるという決定は正しかった。当時、エルンスト・レームは間違っていた。SAの任務は、軍事的に戦う体制を打ち破る

ことではなく、国民の戦闘的エリートをその隊列に集め、そのSA精神の模範を通じて、NSDAPの法的革命を可能にするために、国民の幅広い大衆を国家社会主義に勝利させることであった。これが、私たちがSAの伝統を理解していた方法であり、これを今日の闘争の時代に適用する方法である。

しかし、1934年6月30日には、国家社会主義運動はすでに権力を握っており、SAは、本質的にその任務を果たしていた。しかし、このような状況では、ブルジョア国家のすべての機関および権力の砦に国家社会主義的精神を吹き込み、それらを変革し、党の権威のもとに置くことが問題となるのである。これには、とりわけ、内外の国家安全保障のすべての形成が含まれる。これらの分野は、勝利したSAとその中で組織された民族の戦闘的エリートの古典的課題である！ブルジョア反動の権力の砦に対するこのような闘いがなければ、革命は不完全なままであり、結局そうなったように、大きな緊張のもとで失敗し崩壊しなければならない。だから、今回、エルンスト・レームは正しかった。

したがって、反動に対する一貫した無慈悲な闘いは、SAの伝統における7番目の要求である。SAとその偉大な参謀の血なまぐさい悲劇的な歴史に鑑みれば、我々は、すでに引用したエルンスト・レームの言葉に明確に表現されているこのSAの伝統に、極めて意識的に、かつ不可避免的に立っている：

"反動と革命は天命の敵である。一方が他方を排除するため、何度も橋が架かることはない。"



NS KAMPFRUF
KAMPFSPRITZ DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN
ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION
September 1934 September 1973 28. April 2017 (2016)

Der Kampf geht weiter !

Seitlang haben nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 in der nationalsozialistischen Bewegung wieder die ja zuvor in der Nachkriegszeit Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!
Menschen von Massenmord, Verbrechen, Vorfällen und Verbrechen haben nicht umsonst, den Kern der gesamten Idee unserer hoch gelobten Führer Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten sind sonstige
affektive Führer und Kampfgemeinschaften
sollen sich nicht an der Erfüllung unserer wahren Visionen.
Die Bewegung ist eine einzige geworden, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute auch viel größer als in der Vergangenheit.

Der unvermeidliche Sieg ist also dabei, das Volkstum – gegen alle wahren Visionen (V) – zu beugen, seine Mittel und Erziehung, Umformung und Reorganisation.

Ob "Nazi" oder "Hitler", ob im Wahlkampf oder im Brautwerbung, ob nur Propagandaformal herbeiführen oder auf einem Scheiternfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat sein Pflicht!

Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S. ニュース 速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.morningtheancient.com/truth.htm)に集中して取り扱っています。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の物語は、まさに情熱の地獄です。一つのことについて情報を控えても、さらに2つほど聞きたいことが出てくる。まるで、理も




the NEW ORDER
Number 179 (2022) Founded 1978 April 26, 2022 (2016)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much-loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other society-aware consciences and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "Nazi" or "Hitler", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or in a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



SS Defender against Bolshevism
by Reichführer SS Reichführer Himmler
FOR-DANMARK! MOD BOLCHEVISMEN!
Translated from the SS Original!

Julian Steiniger Der Himmler Führer Book
The Poisonous Mushroom
Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Reinhold Kellermann
Hitler in Italy
HITLER in ITALIEN
English / German French / English

SS Viewpoint – Vol. 9
Wife and Family

Theodor Fritsch
The Sins of High Finance

Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im Bild
English - German / French - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!